

## 一般財団法人 印刷図書館 2025年度 事業報告

自 2025年 4月 1日

至 2026年 3月31日

印刷図書館は、「印刷技術及び印刷文化の発展向上に寄与すること」を目的に運営を行っております。1947年（昭和22年）、戦後まもなく開館した当館も、2027年3月には財団設立80周年という大きな節目を迎えます。これまでの歩みは、印刷産業ならびに関係各位の格別のご高配と継続的なご支援のもとに積み重ねられてきたものであり、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

2025年度は現行の蔵書管理システムを新システムへリプレイスしたことで、Web上での利便性を高めると同時に、運営コストの削減に努め、運営の健全化を推進しました。

事業運営にあたりましては、一般財団法人としての公益性を踏まえつつ、専門図書館として一般利用者へ情報提供を行うとともに、各事業の推進に努めてまいりました。各事業の実施状況につきまして、下記のとおり、印刷図書館の事業体系に沿ってご報告いたします。

### 印刷図書館の基本事業

#### 【公益目的事業】 1. 図書館運営事業

- (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス
- (2) 図書・資料の収集、整理
- (3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供
- (4) 関連機関との相互協力

#### 2. 広報活動事業

- (1) 受入れ資料のデータベース化
- (2) インターネットへの蔵書データの更新
- (3) ホームページを通しての新刊情報の紹介
- (4) ホームページを通しての財団活動報告等

#### 3. その他事業

- (1) 所蔵する印刷文化財の貸出

#### 【重点テーマ】 1. 蔵書管理システムを新システムへリプレイス

2. 図書館のPR活動の強化
3. 図書館と関連機関との連携強化

#### 【運営管理業務】 理事会及び定時評議員会の開催

# 事業報告

## 【公益目的事業】

### 1. 図書館運営事業

#### (1) 専門図書館としての一般公開及びサービス

##### ① 利用状況

当図書館の利用にあたっては、会費を納めている法人（維持会員）は無料とし、それ以外の利用者については一般 600 円、学生 200 円の利用料を設定している。

利用者の多くは印刷業界および関連業界の関係者であるが、本年度は、明治時代から昭和初期にかけての書体調査を目的とした利用が多く見られた。また、一般利用者としては、シンクタンクやコンサルティングサービス会社による印刷業界動向の把握や各種データ収集を目的とした利用のほか、美術館・博物館関係者など、研究者による調査利用が多かった。

2025 年度の利用者数は、前年度に引き続き減少傾向となった。主な要因として、前年度まで実施していたカタログ展の受賞作品展示を本年度は開催しなかったことが挙げられる。2024 年度において当該展示を目的として来館していた 24 名（同年度利用者全体の約 16%）の利用が本年度はなくなり、利用者数減少の一因となったものと考えられる。加えて、コロナ禍以降に進展した情報のデジタル化や、デジタルメディアを活用した情報取得手段の多様化も、その一因であると考えられる。詳細は以下のとおりである。

来館者数内訳

(単位：名)

|         | 維持会員 | 一般 | 学生 | 合計  |
|---------|------|----|----|-----|
| 2024 年度 | 81   | 64 | 3  | 148 |
| 2025 年度 | 54   | 50 | 7  | 111 |

このような状況を踏まえ、印刷図書館の利用促進および認知度向上を目的として、ホームページへのアクセス数増加を図るため、蔵書管理システムの見直しを行った。その結果、ホームページのアクセス数は前年度比で約 1.6 倍に増加した。

2025年度のホームページのアクセス件数は次のとおりである。

ホームページアクセス件数

| 月      | 4月    | 5月  | 6月   | 7月  | 8月  | 9月    | 10月    | 11月   | 12月   | 1月    | 2月  | 3月    | 合計     |
|--------|-------|-----|------|-----|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-----|-------|--------|
| 2024年度 | 1,047 | 458 | 563  | 557 | 487 | 385   | 706    | 771   | 403   | 406   | 481 | 408   | 6,672  |
| 2025年度 | 483   | 561 | 460  | 487 | 430 | 1,272 | 1,350※ | 1,035 | 1,020 | 1,131 | 952 | 1,498 | 10,679 |
| 前年差    | -564  | 103 | -103 | -70 | -57 | 887   | 644    | 264   | 617   | 725   | 471 | 1,090 | 4,007  |

※：2025年10月より新システムをリリース開始、9月は内部テスト運用期間

② 閲覧分野

本年度における閲覧分野は、印刷技術関連分野を除くと、印刷業界に関する分析資料および書体・活字分野に利用が集中しており、二極化の傾向が見られた。書体・活字分野では明治期から昭和初期にかけての歴史的資料の利用が多く見られた一方、印刷業界に関する分析資料では、統計データ等による最新情報の把握を目的とした利用が中心となっており、過去資料と最新情報を求める利用が併存している点が特徴として挙げられる。

また、最新の統計データや業界動向を把握する目的で、新聞・雑誌・機関誌・会報等を併せて閲覧されるケースが多く、これらの資料は、戦前の印刷技術や歴史に関する調査の際においても活用されており、資料形態別では、新聞・雑誌類の利用が最も多い結果となった。

なお、明治・大正時代の書体見本や雑誌等の貴重資料については、書体研究者や当時の資料を探している利用者から、実物資料を直接閲覧できる点が高く評価され、好評を得ている。

2025年度における閲覧分野の大まかな内訳は次のとおりである。

(単位：件／複数回答)

| 市場分析<br>動向<br>統計 | 技術<br>経営<br>資料<br>金<br>管<br>理 | 資機材<br>(印刷機械、<br>紙、インキ等) | 社史<br>組合史<br>歴史<br>人物伝 | 学会要旨<br>国内外論文 | 雑誌<br>新聞<br>機関誌<br>会報 | 明治<br>大正<br>昭和初期<br>史料 | 書体<br>活字 | 他<br>(叙勲・業界<br>イベント等) |
|------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------|---------------|-----------------------|------------------------|----------|-----------------------|
| 21               | 25                            | 7                        | 7                      | 4             | 25                    | 20                     | 22       | 5                     |

③ 貸出業務及びコピーサービス

ア 貸出業務

貸出については、維持会員に限り可能とし、2週間で5冊以内としている。なお、貴重資料ならびに最新データについては、館外貸出の対象外としている。2025年度における貸出状況は次のとおりである。

## 貸出状況

(単位：点)

| 市場分析<br>動向<br>統計 | 技術<br>経営<br>料<br>管理 | 資機材<br>(印刷機械、<br>紙、インキ<br>等) | 社 史<br>組 合 史<br>歴 史<br>人 物 伝 | 学 会 要 旨<br>国 内 外 論 文 | 雑 誌<br>新 聞<br>機 関 誌<br>会 報 | 明 治<br>大 正<br>昭 和 初 期<br>史 料 | 書 体<br>活 字 | そ の 他<br>(図 録、<br>単 行 本 等) | 合 計 |
|------------------|---------------------|------------------------------|------------------------------|----------------------|----------------------------|------------------------------|------------|----------------------------|-----|
| 1                | 12                  | 0                            | 2                            | 0                    | 1                          | 0                            | 0          | 4                          | 20  |

## イ コピーサービス

コピー総数は819枚で、前年度比47%減少となった。本年度も前年度に引き続き、戦前の印刷技術や印刷史、書体見本帳等に関する資料のコピー利用が最も多かった一方、市場動向関連のコピー利用は減少する結果となった。なお、本年度におけるコピー及びパソコン利用状況は次のとおりである。

## コピー及びパソコンの利用状況

|       | コピー総数  | 白黒コピー枚数<br>(@50円) | カラーコピー枚数<br>(@100円) | 私物PCへの入力<br>(@400円) |
|-------|--------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 2024年 | 1,532枚 | 1,515枚            | 17枚                 | 0名                  |
| 2025年 | 819枚   | 728枚              | 91枚                 | 2名                  |

## (2) 図書・資料の収集、整理

お図書および資料の収集については、印刷関連出版物の発行状況を常に把握するとともに、積極的に関連団体や企業に問い合わせを行い、蔵書の充実を図った。またバックナンバーの欠号補充にも継続して取り組んだ。

2024年度の受入総数803点に対し、2025年度の受入資料の総数は、定期購入していた逐次刊行物の購入中止やWeb媒体への移行等により減少し、773点となった。区分別の内訳は次のとおりである。

《2025年度 受入資料の区分》

| 区分                     | 点数  | 資料紹介   |
|------------------------|-----|--|
| プリプレス                  | 1   | タイポグラフィ学会誌 14                                      |
| 印刷技術                   | 0   |  |
| 後加工                    | 4   | 包装…知っとく知識 改訂2版 他                                   |
| 印刷資材／印刷機械              | 5   | 機能紙研究会誌、2025印刷機材年鑑 他                               |
| 技術一般／料金／出版／法令<br>環境／経営 | 22  | 100年の技術力 東京下町企業のものづくり物語、印刷料金 2025<br>年版、考える写真著作権 他 |
| 名簿／業界イベント／図録           | 21  | 写真植字の百年、Graphic Art & Design Annual2023 他、各種名<br>簿 |
| 市場分析、動向、統計             | 14  | 季刊出版指標、印刷白書 他                                      |
| 調査研究報告書                | 1   | 2023年度印刷産業機械業界のEPA活用推進に関する調査研究報<br>告書              |
| 研究論文、セミナー要旨            | 9   | 印刷学会主催の各種セミナー要旨                                    |
| 学会誌                    | 19  | 印刷、画像、写真、メディア学会誌等                                  |
| 組合史・団体史・社史             | 1   | 有斐閣百年史   |
| その他歴史・印刷関連史            | 2   | 日本写真史 1840-1945、横浜の本と文化 横浜市中央図書館開館<br>記念誌          |
| 国内雑誌類                  | 194 | 20誌（継続誌／月刊、隔月、季刊発行）                                |
| 外国雑誌類                  | 0   |  |
| 業界新聞                   | 246 | 8紙（継続紙／週刊、月2、月3発行）                                 |
| 会報、機関誌等                | 227 | 61誌（月刊、季刊、年刊発行）                                    |
| その他                    | 7   | 或る英国俳優の書棚、日本語を作った男 上田万年とその時代 他                     |
| 合 計                    | 773 |  |

(3) 利用者への蔵書の紹介・検索、情報の提供

印刷図書館の利用者の求める資料内容は高い専門性が求められるため、そのニーズに対応できるよう、資料は特集記事ならびに注目記事をデータベース化し、より詳細な資料情報の提供に努めた。

また、当館で該当資料が見つからなかった場合は、他の機関にも問い合わせをし、所蔵の有無を確認し対応した。

(4) 関連機関との相互協力

関連機関が実施する企画展示等において、チラシやリーフレットの配布、展示用資料の貸出し協力、情報提供などを行い、業界団体および公的機関との連携・協力を積極的に取り組んだ。

2. 広報活動事業

当財団はホームページを通して広報活動を実施しており、蔵書データの更新、新刊情報の紹介、財団活動等をその都度発信し、広報活動に努めた。

(1) 受入れ資料のデータベース化

今年度の受入れ資料 773 点すべてを、蔵書管理システムへデータベース化した。入力事項は、基本の書誌データ（タイトル、発行元、発行年、体裁）以外に、特集記事も入力し検索性・利便性の向上に努めた。

(2) インターネットへの蔵書データの更新作業

入力したデータは、速やかにサーバーに転送し、ホームページの[蔵書検索]機能の充実と、情報公開に努めた。

(3) ホームページを通しての新刊情報の紹介

受入れ資料のうち、定期刊行物以外の図書、報告書類については、ホームページの[新刊情報]に、表紙画像とともに主要目次を掲載し紹介した。なお、本年度の掲載件数は昨年度 26 件に対し、25 件となった。

(4) ホームページを通しての財団活動報告等

ホームページを通して理事会及び定時評議員会に関する事業報告を掲載したほか、ブログ更新のお知らせを行った。

### 3. その他事業

#### 所蔵する印刷文化財の貸出

印刷文化財のデジタル画像のほか、外部機関へ展示用・撮影用として、コレクション資料からポスターを含む現物資料の貸出を行った。本年度は、現物資料の貸出が3件、デジタル画像資料の貸出3件の合計6件となった。詳細については次のとおりである。

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 作品名  | 『デザインのひきだし 55』 / グラフィック社、2025年 |
| 資料形態 | 現物資料                           |
| 貸出先  | 一般社団法人日本印刷産業連合会                |
| 目的   | 日印産連40周年記念トークイベントでの展示のため       |

|      |  |
|------|--|
| 作品名  | 1. 「書体」 / モトヤ商店、1957年<br>2. 「和文活字」 / 精興社、1966年<br>3. 「The TYPEBANK」 / 朗文堂、1985年<br>4. 「本明朝」 / リョービ印刷機販売株式会社、1985年<br>5. 「活版見本」 / 東京築地活版製造所、1903年 |
| 資料形態 | 現物資料   |
| 貸出先  | 大日本印刷株式会社 市谷の杜 本と活字館   |
| 目的   | 企画展「明朝体」出展のため  |

|      |  |
|------|--|
| 作品名  | 1. 「サクラビールポスター」 / 1916年<br>2. 「アサヒビール入選ポスター」 / 1929年<br>3. 「アサヒビール踊り子」 / 1930年<br>4. 「法隆寺壁画額絵」 / 1933年 |
| 資料形態 | 現物資料   |
| 貸出先  | 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン<br>豊中市立市民ギャラリー  |
| 目的   | 豊中市所蔵作品展 2025-26 大阪・関西万博開催記念<br>没後25年野村廣太郎展「なにわ百景・春夏秋冬」にて展示のため   |

|      |  |
|------|--|
| 作品名  | ポスター「壽屋赤玉ポートワイン」 1922年                                     |
| 資料形態 | デジタル画像   |
| 貸出先  | Plus81 Inc.  |
| 目的   | Plus 81「日本のADグラフィックス100年史（仮）」にて、<br>壽屋 片岡敏郎氏が手がけた広告作品として紹介 |

|      |  |
|------|--|
| 作品名  | 『活字と機械』 東京築地活版製造所、1914年                        |
| 資料形態 | デジタル画像   |
| 貸出先  | フリーライター  |
| 目的   | マイナビニュースのWeb連載企画<br>「写植機誕生物語〈石井茂吉と森澤信夫〉」に掲載のため |

|      |   |
|------|---|
| 作品名  | 「米欧回覧実記 第1篇」 久米邦武、1878年   |
| 資料形態 | デジタル画像  |
| 貸出先  | 株式会社NHK エディケーショナル   |
| 目的   | JICA・放送大学学園共同制作番組「続・日本の近代化を知る」第10章 日本と国際法（2020年12月12日初回放送）<br>日本の近代化の道筋と複雑な動きを日本人ならびに国際社会での日本を学ぼうとする学生たちに向けた教育講座内の資料として（再放送・期間延長） |

## 【重点テーマ】

### 1. 蔵書管理システムを新システムへリプレイス

これまで印刷図書館では、所蔵資料の管理およびWeb公開を目的として、蔵書管理システム「Net Facil」を利用してきた。しかし、蔵書データがインターネット検索エンジンに表示されないこと、ならびにシステム運用費が割高であったことから、蔵書管理システムの見直しを検討し、2025年10月より新システムへの切替えを実施した。

新システムへの切替えにより、蔵書データがインターネット検索エンジンからも検索可能となり利便性が向上した。その結果、ホームページのアクセス数は前年度比約 1.6 倍に増加するとともに、システム運用コストは、従来比で約 8 分の 1 となった。

## 2. 図書館の PR 活動の強化

SNS を活用した広報活動として、ブログ「印刷図書館だより」を通じ、新刊・雑誌案内をはじめ、当館および関連機関が実施する企画展等の情報について、年間約 40 回の情報発信を行った。

また、2025 年度は新たに、アドミュージアム東京、一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会、一般社団法人日本書籍出版協会、学校法人日本プリンティングアカデミーの協力を得て、リーフレットの配布を行い、認知向上を図った。

前年度に引き続き、東京都印刷工業組合、公益社団法人日本印刷技術協会 (JAGAT)、本年度より日本プリンティングアカデミーにも協力を依頼し毎年 4 月に開催されている新人研修セミナーにおいて、当館のリーフレットおよび招待券付き案内状を配布した。

図書館総合展 2025 においては、オンライン展示に加え、パシフィコ横浜会場の専門図書館紹介コーナーにてパネル展示に参加し、当館の PR に努めた。

さらに、株式会社ブレインテック社内の一角に設けられた小中規模図書館紹介コーナー「一箱図書館紹介展示」に参加し、当館の展示を実施した。同展示の様子は SNS にも掲載された。



X



株式会社ブレインテック「一箱図書館紹介展示」

(左) 当館展示箱の内容 (右) 同展示に関する SNS (X) 掲載画面

### 3. 図書館と関連機関との連携強化

本年度は、関連機関との連携強化を目的として、各機関の企画展示等に対し、資料提供および展示協力を行った。

株式会社竹尾が運営する見本帖本店で開催された企画展示「Takeo Paper School」においては、参考資料として、印刷図書館刊行『財団設立 70 周年記念誌 印刷図書館コレクション』が展示された。

また、市谷の杜 本と活字館で開催された企画展示「明朝体」においては、展示用複製資料の作成を目的として、当館所蔵資料の原本を一時的に貸し出し、作成された複製資料が展示に使用された。

さらに、大阪府豊中市立市民ギャラリーで開催された「豊中市所蔵作品展 2025-26 大阪・関西万博開催記念 没後 25 年 野村廣太郎展『なにわ百景・春夏秋冬』」後期展においては、展示作品として当館所蔵のポスター史料を貸し出し、展示協力を行った。

これらの資料貸出を伴う展示協力の詳細については、「3. その他事業 (1) 所蔵する印刷文化財の貸出」を参照。

以上の取組を通じて、関連機関との積極的な連携および協力を推進した。

なお、印刷博物館との「印刷専門図書館交流会」については、本年度の開催を予定していたが、特別企画展の開催に合わせ、開催日を 2026 年 5 月 27 日に変更し、次年度に実施することとした。



(左) 大阪府豊中市民ギャラリー

「没後 25 年 野村廣太郎展『なにわ百景・春夏秋冬』」後期展示会場



(右) 市谷の杜 本と活字館 企画展示「明朝体」資料展示の様子

## 【運営管理業務】

### 理事会・定時評議員会の開催

2025年度における開催状況は、次のとおりである。

#### (1) 定時評議員会

2025年度 定時評議員会 (Zoom 併用)

- ・開催日時 2025年6月11日 午後2時30分～2時45分
- ・開催場所 日本印刷会館 2階大会議室
- ・出席者 評議員23名中14名  
理事16名中4名、監事1名中11名
- ・決議事項
  - ・2024年度決算書類承認の件
  - ・評議員1名選任の件
- ・報告事項
  - ・2024年度事業報告の件

#### (2) 理事会

2025年度 第1回 理事会 (書面決議による理事会)

- ・理事会の決議があったとみなされた日/2025年5月19日
- ・理事会決議事項の内容
  - ・2024年度事業報告並びに決算の件
  - ・2025年度定時評議員会の開催日の件

2025年度 第2回 理事会 (Zoom 併用)

- ・開催日時 2026年3月18日 午後2時30分～2時40分
- ・開催場所 日本印刷会館 202・203会議室
- ・出席者 理事16名中14名、監事1名中1名
- ・決議事項
  - ・2026年度事業計画並びに予算の件

#### (付記) 事業報告に係る附属明細書について

事業報告に関して、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していない。

以 上